

令和6年5月23日

鳥取県知事定例記者会見

6月補正予算編成

総額 60億円台へ

◆ 能登半島地震等を踏まえた防災対応力の強化 1億円程度

- 広域防災拠点の機能強化
・県広域防災拠点として活用する「道の駅ほうじょう」の機能強化に向けた調査
- 官民連携によるドローン活用推進
・「ドローンレスキューユニット」創設、ドローン活用実証事業、協力企業のドローン導入等支援
- 感震ブレーカー設置促進
・地震による出火・延焼防止に資する感震ブレーカーの設置支援
- 津波発生時の沿岸監視機能を強化
・河口部水位計を新設・改修（3か所）し、水位観測間隔を短縮
- 大規模災害時の住民共助の強化
・倒壊家屋からの救出訓練、救急救命講習
- 上下水道災害対策の強化
・県・市町村防災研修、発災直後の緊急対応段階を想定した合同防災訓練



救出訓練用の倒壊家屋を模した建物イメージ

◆ 若者目線の人口減少対策 0.2億円程度

- とっとりEYE(愛)デジタルガイド作成
・若者目線によるふるさとキャリア教育デジタル教材作成
- 高校生の地域活動推進
・高校生の地元企業・地域との交流支援
- 「暮らすインターンシップ」の強化
・交流・滞在等を組み合わせた「定住型インターンシップ」
- とっとりコネクトプラットフォームの構築
・大都市部の本県出身者若者交流を応援
・SNSやメタバース空間「バーチャルとっとり」を活用し交流・発信

◆ [公共事業] 地域高規格道路の整備促進等 51億円程度

公共事業に係る国補助・直轄事業の認証増等に伴う増額補正（補助・直轄の認証率：前年対比+2.0%） ※公共事業総額587億円（6月補正後）

<主な箇所・事業>

- ・北条湯原道路（倉吉道路・倉吉関金道路）139百万円 → R7.3月開通（倉吉西IC～倉吉南IC（延長3.8Km））に向けた本線整備の推進
- ・江府三次道路（江府道路）江府町武庫～佐川、延長4.1Km 741百万円 → 久連（くれ）トンネル工事（R8完成予定）の推進
- ・通学路安全対策（歩道整備）505百万円、農地防災（ため池や頭首工などの土地改良施設の防災・減災対策）689百万円 ほか

出水期に備えた防災対策の強化

県地域防災計画の暫定運用

● 昨年の風水害の教訓を計画に反映し、6月1日から暫定運用

◆ 情報の一元化等

○ 道路の冠水対策

- ・冠水危険箇所の公表、注意看板の設置
- ・監視カメラ等による冠水状況の把握、迅速対応（6月より順次運用開始予定）

○ ダムの緊急放流時の適切な避難

- ・ダムの機能、緊急放流、サイレン放送の意味をわかりやすく周知

◆ 孤立集落対策

- ・孤立集落の早期把握、連絡通信手段の確保
- ・ドローン等を活用した迅速な情報収集
- ・関係機関と連携した早期の救助・救出
- ・避難場所（支え愛避難所等）の確保、資機材整備

◆ その他対策

○ 県民啓発、注意喚起

- ・大雨予想時の早期注意喚起（通勤・通学等の災害予防）
- ・冠水時の対処法の啓発

○ 学校の臨時休業の適切な判断

- ・判断基準例を作成し、県立学校及び市町村に周知

◆ 「線状降水帯」情報の拡充

○ 予測を県単位で発表（5月28日開始）

中国地方単位 → 都道府県単位

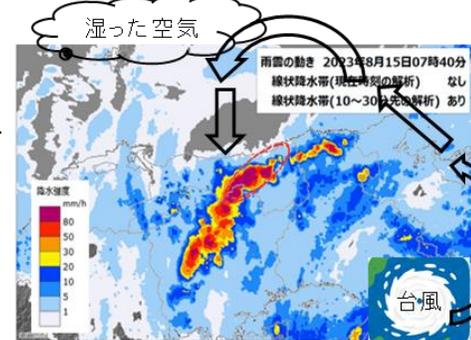
⇒ 県は、早期に対応体制を引き上げて準備
台風接近時と同様の対応

令和5年台風第7号

（豪雨のメカニズム）

- ・日本海側の海水温が平年より高く、台風からの乾いた空気が日本海で水蒸気を吸収
- ・日本海の低気圧により、温かい日本海上で供給された大量の水蒸気が北風により山陰地方に運ばれ、大雨をもたらした ⇒ 線状降水帯の発生

< 線状降水帯、大雨特別警報 >



- ・現在、日本海の海水温は平年より2~4℃高く、水蒸気流入の恐れ

⇒ 県・市町村担当者の最新研究成果の勉強会開催

出水期に備えた訓練

- ・日野川総合水防演習（5月25日）
中国地区の関係機関が参加した人命救助訓練等
- ・水害対応の図上訓練（5月28日）
大雨警報発表時の県の初動対応の手順を確認
- ・上下水道防災訓練【6月補正】
市町村や業界と連携した被災時の初動対応確認等

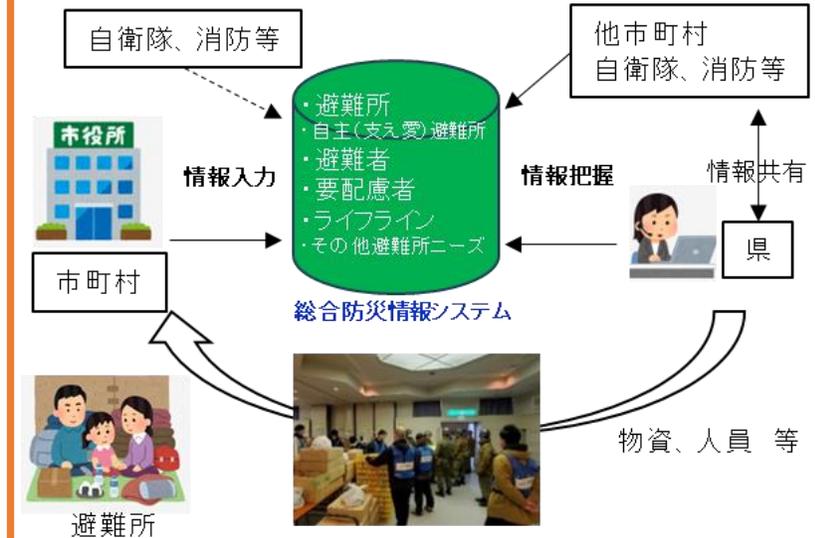
出水期に備えた水害対策

- ・台風第7号の佐治川ダム流入土砂の撤去が概ね完了（進捗率約91%）し洪水調節容量を確保済
- ・樹木伐採・河道掘削による流下能力向上
R6年度新たに16箇所着手し、H30点検全668箇所に着手
- ・R5年度 水位計2基、カメラ3基を増設
累計 水位計166基、カメラ165基

避難所運営支援システム

市町村が行う避難所の運営等を支援

- ・自主（支え愛）避難所を含む避難所情報を総合防災情報システム（広島県と構築中）等で共有
- ・避難所避難者、要配慮者、避難所ライフライン、物資ニーズ等
- ・物資や人員等が不足する場合は、県が調達・調整



災害時緊急対策パートナーシップ協定

○ 民間力を体系的・戦略的に活用

- ・物資、輸送、救急救助、ライフライン、情報、医療、トイレ、段ボールベッド、災害復旧等
- ・応急仮設住宅の早期確保、コンテナハウス等の業界団体との協定締結へ



環日本海定期貨客船航路就航に向けた受入準備の加速

境港へのイースタンドリーム号試験運航

5/26(日)9:00入港 → 27(月)18:00出港

→ **運航の安全性や手続きを確認**

歓迎式典：米子がいな太鼓でのお出迎え、くす玉割り 等

船内見学会：

見学希望者を募集中！

(県HPから電子申請 5月23日 17時まで)

来県者：約40名〔江原道グローバル本部長、東海市副市長、江原道民日報、韓国旅行社、Youtuber、インフルエンサー等〕

FAMツアー：韓国メディア6社、旅行社等15社が参加し、中海・宍道湖・大山圏域及び鳥取県内の観光地視察(5/26~29)

訪韓団派遣：環日本海経済活動促進協議会、県サイクリング協会、鳥取県で訪韓し、航路利用促進・貨物誘致(5/26~29)



イースタンドリーム号

正式就航

初便：8/3(土)9:00入港 → 4(日)19:00出港

週1便運航、(毎週土曜日9:00境港入港、日曜日19:00境港出港)

就航準備を加速し日韓「海の道」の実現へ

○航路安定化支援

中海・宍道湖・大山圏域市長会協調支援 (100万円/1航次)
※前回就航時同様

○観光促進 シャトルバス、船社との連携PR 等

○物流促進 RORO機能の荷主支援、新規開拓 等

2025日台観光サミットin鳥取の開催決定へ！！

○台湾高雄市で開催される「2024日台観光サミット」(6月1日)で**2025年の鳥取県開催が決定**。

○日本、台湾双方の旅行促進・交流人口の拡大を目指す。(観光関係者など250名が参加)

カメムシ緊急防除対策

＜発生状況など＞

- 暖冬によるカメムシ類の越冬が**平年の3倍以上**、イネカメムシ被害拡大懸念
- 出穂期(田植え後)の防除が重要で、当初予算約400haと併せ、「**きぬむすめ**」等の**中生品種の約1,100haをカバー**
- クサギカメムシ(果樹)は4/17に注意報を発出済、イネカメムシ発生時期に向けて注意喚起

予備費 15 百万円を発動し、直ちに対応

● イネカメムシ防除支援

- ・広域防除経費支援:県1/3、市町村1/6程度
- ・市町村の防除計画策定への支援:県1/2

● 発生予察体制整備等

- ・発生状況をリアルタイムに把握し、有効な防除を行うために必要な発生予察調査体制を緊急整備、防除時期に向けた注意喚起

● クサギカメムシ(果樹)対策

- ・早期小袋かけと防除の徹底等により既に対策済



空き家対策

「発生抑制」「利活用」「除却」の3本柱により、『危険空き家の増加防止』対策を実施

(空き家法に基づき市町村が主体だが、本県は市町村が講ずる対策に積極支援)

令和5年住宅・土地家屋統計調査

(速報値R6.4.30総務省公表)

➤ **本県空き家数41,300戸**

(全国900万戸)

➤ **本県空き家率15.8%**

(全国平均13.8%)

全国順位は前回18位から22位に向上

(中国・四国地方で最上位に)

令和6年度から新たに行う対策

- 空き家の増加防止のための啓発動画作成(CATV、YouTubeでの発信)
- 貸借物件の確保に向けた「残置物撤去」に係る経費への支援

市町村・業界団体との連携による対策

- 市町村担当者会議を緊急的に開催(5月中)
- 危険空き家の除却・改修経費支援
【令和5年度実績】・老朽危険空き家除却支援:122件 ・空き家改修支援:41件
- とっとり空き家利活用推進協議会(相談窓口の設置、人材育成、専門家派遣)

宅建協会、建築士会、司法書士会、土地家屋調査士会、県、市町村

- 令和4年度より空き家抑制に向けたアウトリーチ手法を研究し『住み継ぎ』ノートを作成
- 空き家利活用コンテスト開催 など



空き家利活用コンテスト2023
最優秀賞 MS邸
(内装リフォーム)

犯罪被害支援休暇の創設(県職員)

犯罪被害を受けた職員の負担軽減、心身の回復支援のための新たな休暇制度を創設

※人事委員会規則を改め有給特別休暇創設【R6.6.1施行】

都道府県で初

【背景】

事件・事故後は、警察への届出や事情聴取、治療のための通院、弁護士との相談、傍聴や出廷など、犯罪被害に伴う時間的負担が多く休暇取得が必要

- 警察の事情聴取等の捜査協力：1～2回
- 弁護士との打合せ、裁判への出廷及び傍聴等
 - ・裁判員裁判の一審平均審理期間：3～4割は1年超
 - ・裁判員裁判の一審平均開廷回数：4～5日
- 行政機関への各種届出、支援制度利用の相談

【休暇日数】

- ・警察の事情聴取等への捜査協力、裁判への出廷及び傍聴等のため必要と認める期間
- ・心身の不調、家族の看護の場合は5日以内

令和5年度の時間外勤務実績(速報値)

令和4年度から2割以上減少

- ・総時間数399,035時間(前年比77.5%)
新型コロナ対応、台風第7号対応等の突発的な業務を除けば、365,472時間
(H28:433,860時間 H29:386,477時間 H30:359,508時間)
- ・職員1人あたり月平均時間 13.6時間(前年比78.3%)

【主な要因】

新型コロナ対応に係る時間外勤務の減少
デジタルツールを活用した県庁DXによる業務の効率化

保育所等の待機児童数「ゼロ」

保育所等の待機児童数(R6.4.1時点)
「19年連続ゼロ」を達成

「日本創生のための将来世代応援知事同盟」サミットの
「人口戦略緊急アピール」を関係大臣等に緊急要請
(5/24 河野宮崎県知事、平井知事)

人口戦略緊急アピールin宮崎(5/15採択)

- 国が責任を持って①**東京一極集中を是正し、社会減対策**
②**自然減対策** ③**持続可能な地域づくりの政策**を再構築し、
司令塔設置を
- 経済界・労働界も主体的に対処し、**各界と連帯して運動を**
起こしていく体制の構築を
- **我々25名の知事が次の希望ある時代を切り拓く先導役を**
果たす

【要望先】

松本 総務大臣、自見 地方創生担当大臣 等

5 / 27 協定締結

鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、
鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、鳥取県

東京一極集中の流れを止め、若者が鳥取に住み続け活躍
していくために、学生の地元定着が重要

- ・ 3年間の県内就職率の目標設定
- ・ 地域を担う人材育成の推進
- ・ 県内大学等における県内就職促進・定着

連携・協力
実施！

	R5実績
鳥取大学	23.1%
公立鳥取環境大学	19.1%
鳥取看護大学	70.5%
鳥取短期大学	82.6%
米子工業高等専門学校	14.6%

国土交通省への要望活動

地域に必要不可欠なインフラ基盤の整備と維持・拡充に向けて、県内市町村と共同で、5/25に国土交通省に要望

【要望内容】 ・ 米子・境港間の高規格道路の早期事業化 (鳥取県・米子市・境港市・日吉津村要望)

・ 地域公共交通の維持・拡充、上下水道の耐震化の促進に向けた財政支援の拡大 (鳥取県6団体要望)



極洋食品株式会社(宮城県塩釜市)の立地決定

冷凍食品の需要増と2024年問題等を背景に、西日本への供給体制強化のため倉吉市に拠点設置！

- ◇ 冷凍食品は業務用が主力。市販用では冷凍食品の他、缶詰・珍味も展開
- ◇ 倉吉工場では水産素材のフライなど市販用冷凍食品を製造
- ◇ 将来的には倉吉工場の事業拡大や地元の魚、鶏肉なども活用した商品開発を検討

※親会社の(株)極洋(本社：東京都)は、水産物貿易や水産加工食品に強みを持つ東証プライム上場企業



- ・倉吉市関金町関金宿
- ・令和7年春操業予定
- ・30名程度雇用予定(将来的に拡大見込み)

⇒ 県は産業未来共創補助金で支援

「幸福の口どけを堪能！鳥取和牛フェア」の開催

ホテルニューオータニ(東京)で「鳥取和牛フェア」を開催中！

- ◇ ホテルニューオータニ(東京)内のレストラン6店舗において、鳥取和牛をテーマとした全12メニューを提供
- ◇ 今回初めて一部店舗にて北条ワインをペアリングで提供(谷宣英エグゼクティブシェフ・ソムリエのセレクション)



- ・5月16日(木)から7月15日(月・祝)まで
- ・ホテルニューオータニ(東京)内のレストラン鉄板焼石心亭含め6店舗
- ・鳥取和牛を使用した特別メニュー及び北条ワイン(スペシャルセレクション赤)を提供(今年で7回目のフェア開催)
- ・中島総料理長との対談(5/24)を通し、国内外に向けて積極的PR



鳥取砂丘ボランティア除草が始まります！

5月24日からスタート。皆様のご参加をお待ちしております！

- ◇ ボランティア夕方除草
毎週金曜日 18時～19時30分 (期間：5月24日～6月28日)
- ◇ ボランティア早朝除草
毎週土・日曜日 6時～7時30分 (期間：7月6日～9月1日)
※8月10日(土)、11日(日)は中断

2回参加された方にプレゼント！

- ・除草した草を活用したエコ堆肥
- ・砂丘の外来草(チガヤ)をすき込んだ和紙のレターセット等



エコ堆肥



レターセット

※高校生議会発案

ねんりんピック開幕まであと150日



5月26日 炬火採火式 (大会150日前イベント)

青谷かみじち史跡公園で

- ・炬火採火式
青谷弥生人そっくりさんなどが起こした火を採火
- ・ニューススポーツ体験会
- ・火おこし等の弥生体験 など

「あるくと健康！うごく元気！キャンペーン」×ねんりんピック

- ・ウォーキングアプリ「aruku&(あるくと)」と連携 (6/1~8/31)
- ・7月1日からげんきトリピーがaruku&アプリに出現
ねんりんピックをPR!



来年9月 東京2025世界陸上 ジャマイカキャンプ決定！

- ・2025年9月1日(月)~11日(木) ※予定
- ・ヤマタスポーツパーク陸上競技場
(鳥取市布勢)

●ジャマイカ陸上競技連盟との間で 5月30日(木)に協定締結式

- 出席者
- ・ジャマイカ陸連会長 ガース・ゲイル氏
 - ・駐日ジャマイカ大使 ショーナ=ケイ・リチャーズ氏 ほか
- 協定内容
- ・ジャマイカ選手団への支援
 - ・キャンプ期間中の県民との交流(陸上教室など)

中日ドラゴンズ公式戦で「鳥取県は竜の化身!?”とっとりリュウ“デー”

5/24バンテリンドームナゴヤ ガンバレルーヤも登場

- 知事・チームドラゴン“とっとりリュウ”より鳥取和牛を両チームへ
- ガンバレルーヤによる始球式 ●“とっとりリュウ”うちわをプレゼント
- 大型メインビジョンなどでとっとりリュウ県PR映像
- 展示ブース(琴浦町(神崎神社)、岩美町(龍神洞)や湯梨浜町(ドラゴンカーヌー)等)

